

仲良し♪ きく組

作成日：2024. 6. 25

対象児：4歳児 きく組

作成者：進藤葵月

ねらい：

友だちとの関わりを深め、思いやりを持つ。

製作を通して、色そのものに興味を持ったり変化する様子を楽しんだりする。



～振り返り～

運動会が終わり、きく組の仲が深まってきました。

片づけをする時も、「一緒に持っていこうよ。」とおもちゃ箱を子どもたちで協力をして運ぶ姿が見られるようになりました。

また、友だちが困っていたら「どうしたの？」と声をかける姿や「こうすればいいんじゃない？」と意見を伝える姿が多く見られるようになりました。

そういう姿から保育者はすぐに声をかけず見守ったり子どもたちで話し合ったり助け合ったりする場面を大切にして日々保育をしています。

(協同性、社会生活との関わり、言葉による伝え合い)

ある保育中に一人の子どもが「先生見て！赤色と緑色を塗ったら茶色になったよ！」と目を輝かせて教えてくれました。その姿を見て、色の混ざりを楽しむ事が出来る製作にしたと感じ、6月は「にじみ絵」を取り入れて製作をすることにしました。アルミホイルの上に水性のマーカーで模様を描き、その上を霧吹きをしました。そしたらマーカーが浮き出て他の色と混ざりました。「緑色と黄色が混ざっちゃった。」と楽しそうな姿がありました。その上に白の画用紙を被せると浮き出た色がつかまりました。ピンクや青などカラフルなにじみ絵になりました。その後、手を洗うとなかなかマーカーが取れません。だけど子どもたちは笑顔で「先生見て！こんなになった。」と見せる姿がありました。このような姿から、子どもたちの発見を大切に、そこから想像力や表現力を育む保育をしていきたいです。

(思考力の芽生え、豊かな感性と表現)